

ブラジル日本商工会議所
2021年フォーラム向け発表資料
【化学品部会】

第一部

「2021年度上期の振り返り並びに今後の展望」

Mitsui Chemical Brasil 渡辺 弘樹

第二部

「印刷インキ市場から見るパッケージ市場動向」

Toyo Ink Brasil 亀岡 功良

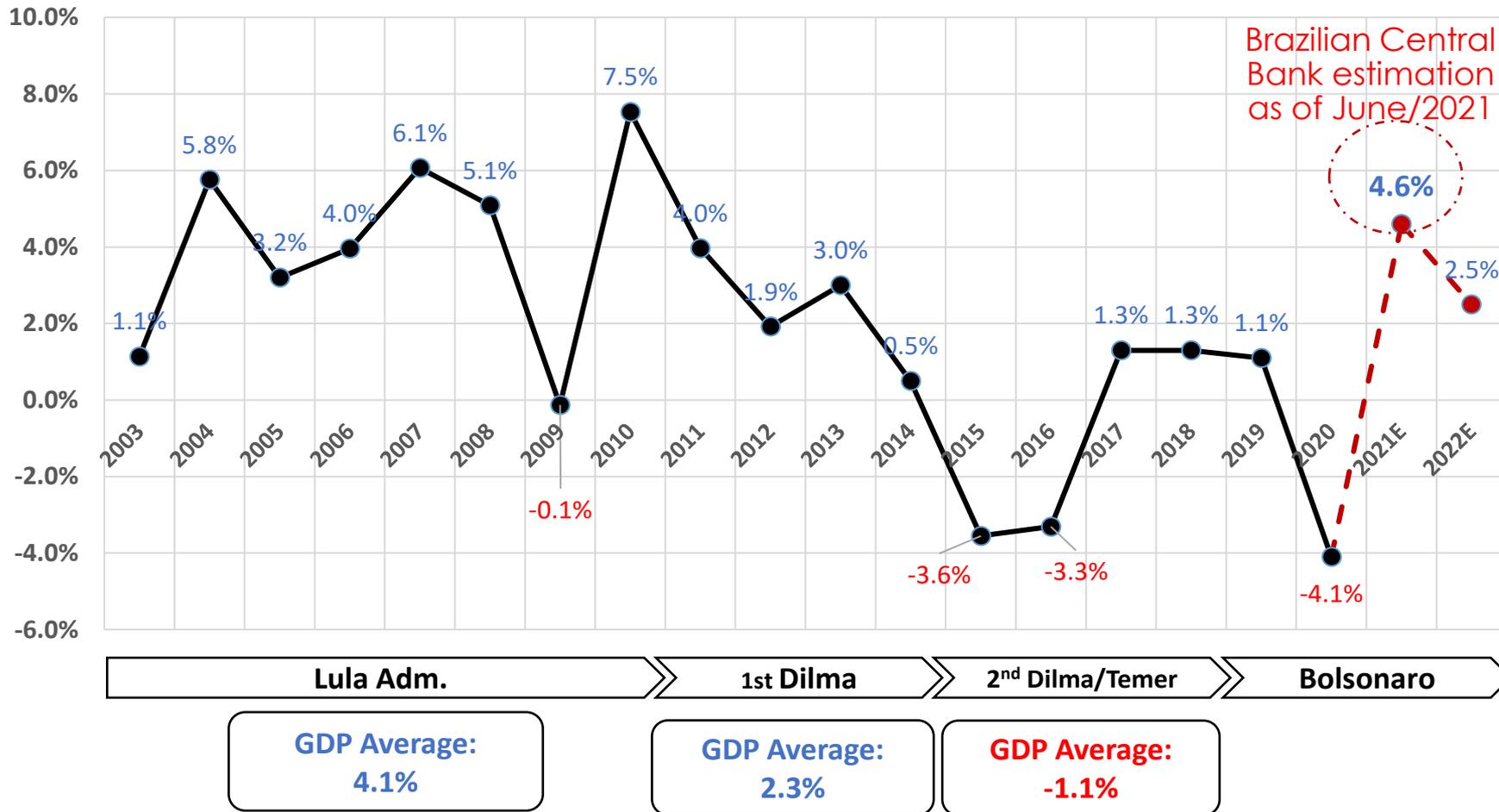
2021年9月8日（水）

「2021年度上期の振り返り並びに今後の展望」 目次

1. ブラジル経済状況
2. ブラジル化学業界
3. 化学品部会の関わる市場と環境
4. 2021年上期(1-6月)の回顧と2021年下期(7-12)月の展望
 - a. 輸送 (自動車、二輪車など)
 - b. ヘルスケア (食品、化粧品、医療関連製品など)
 - c. 農業 (農薬、肥料など)
 - d. 印刷 (インキ、製紙など)
 - e. コンシューマ (筆記具、接着剤など)
 - f. 総括
5. その他

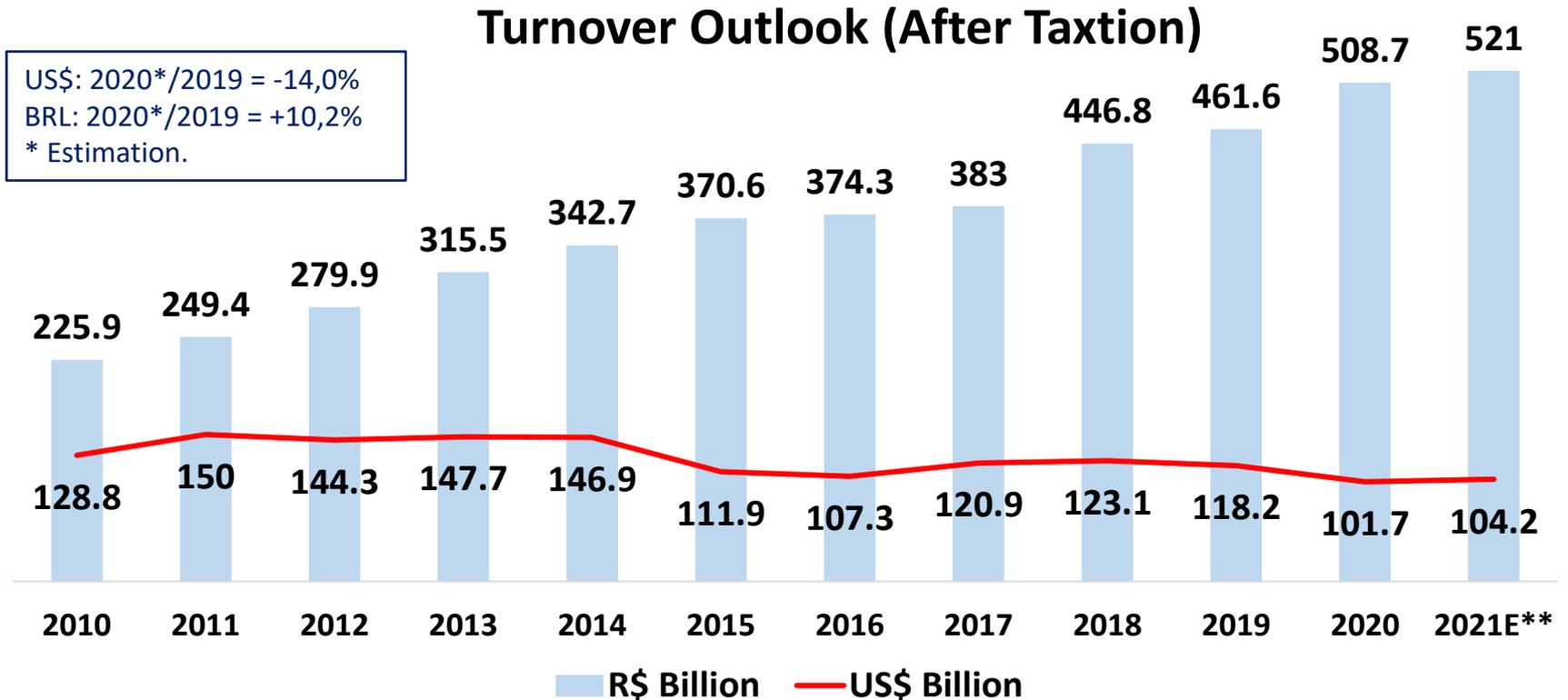


1. ブラジル経済状況



2. ブラジル化学業界

2020 Brazilian Chemical Industries Performance.

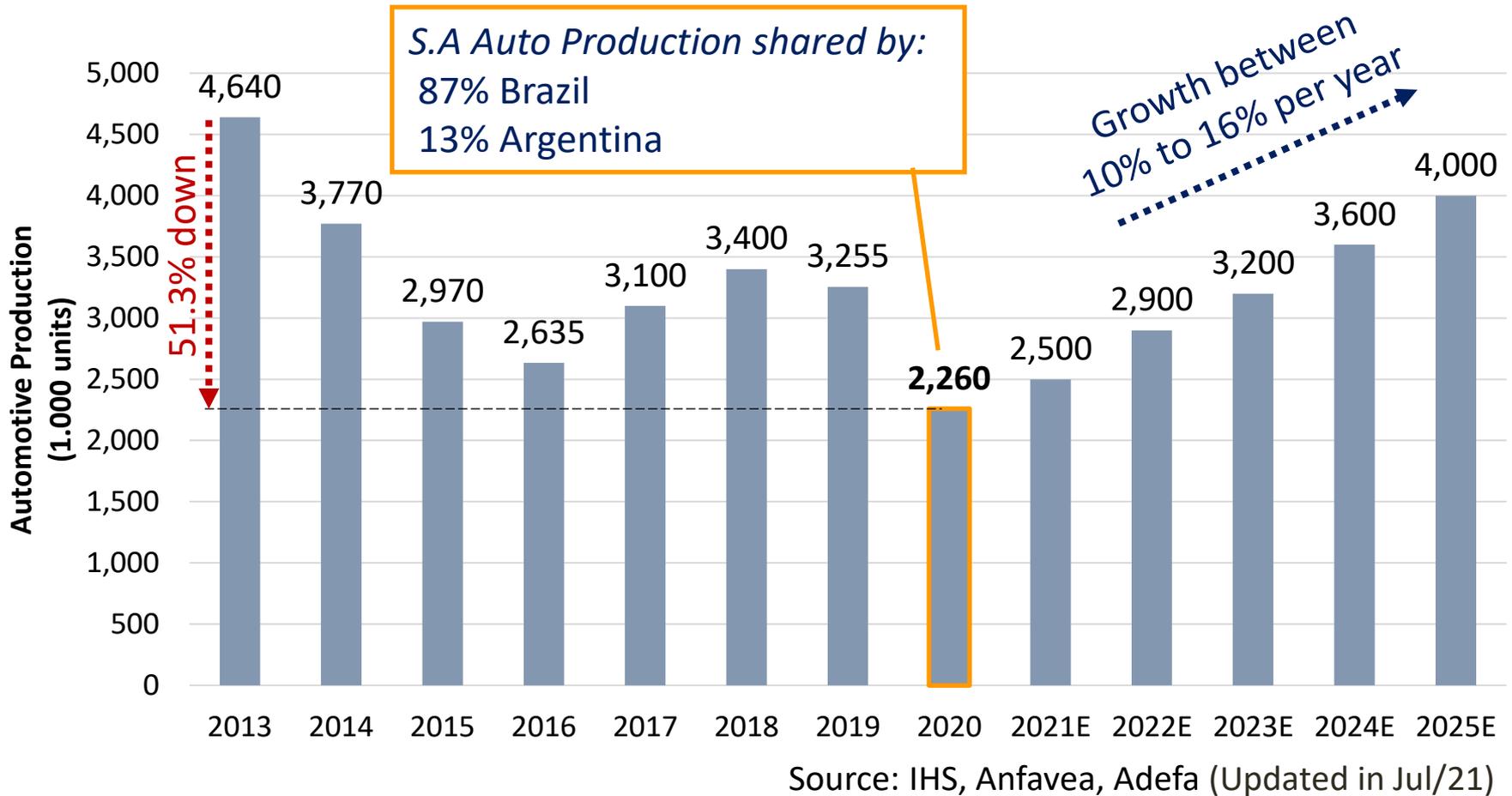


** 2021/2020 Turnover Growth E: +2,5%.
US\$ Rate E: BRL 5,00

Source: ABIQUIM

3. 化学品部会の関わる市場と環境

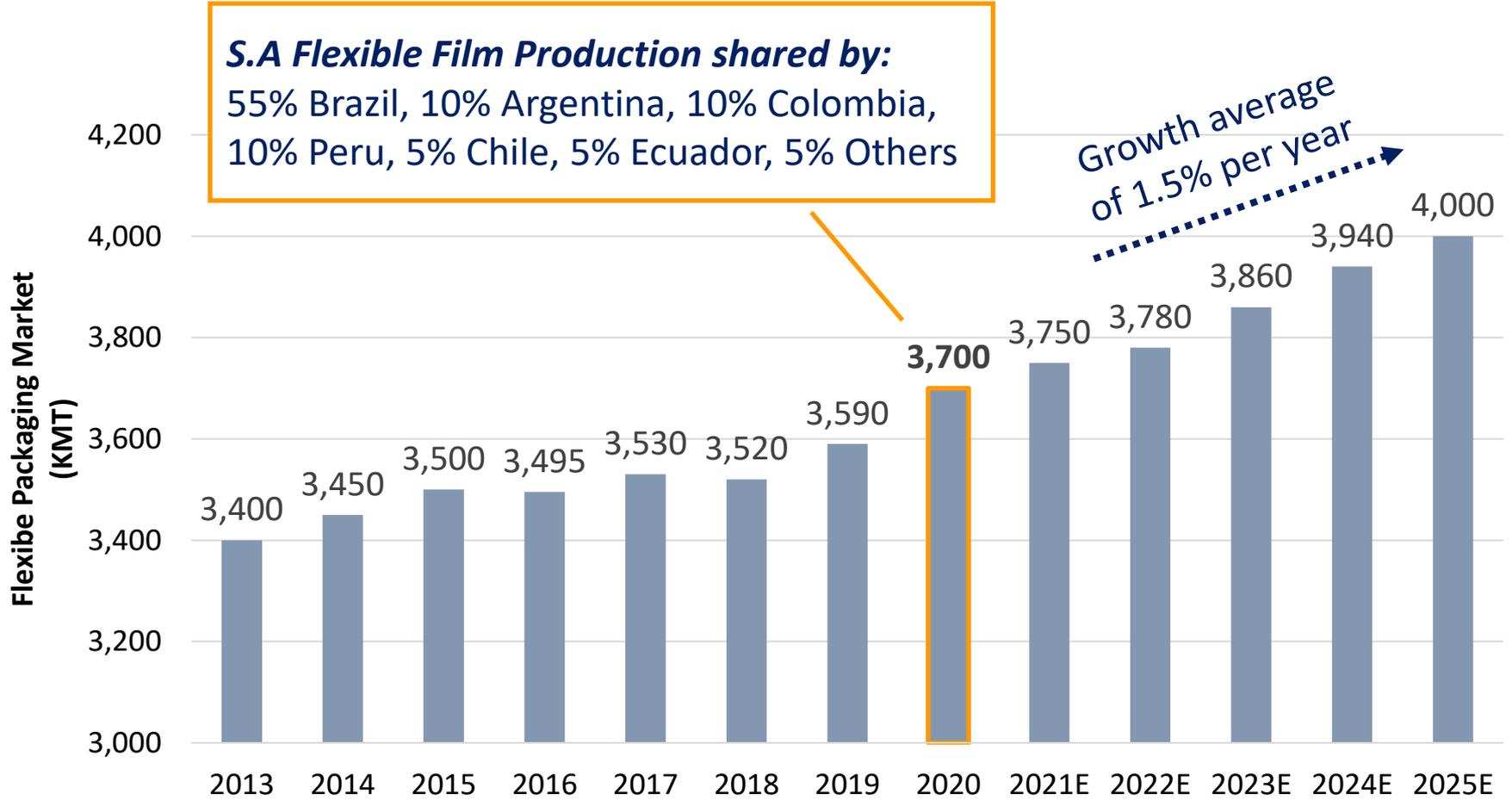
Automotive Production Trend in South America



Shortage of semi-conductor remains on 2H/21, which auto production growth in 2021 shrank from 20% to 10% vs 2020.

3. 化学品部会に関わる市場と環境

Flexible Packaging Market Trend in South America



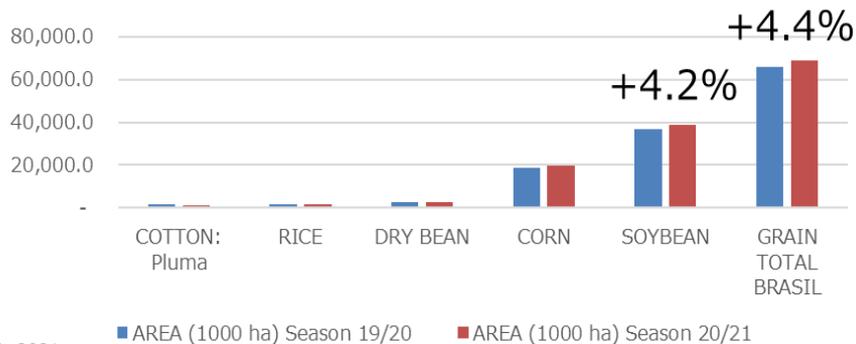
Source: AIM, ABIEF, Clube da Embalagem/Smithers Pira (Updated in Jul/21)

Covid-19: 2021 flexible film production growth shrank from +3% to at least +1% vs 2020 due to global lack of raw material available.

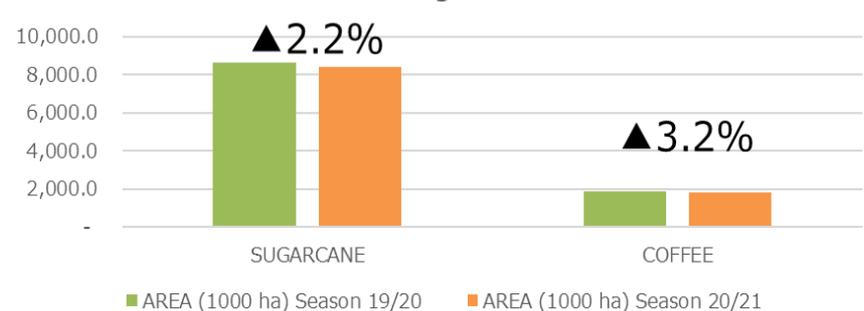
3. 化学品部会の関わる市場と環境

PRODUCT	AREA (1000 ha)			PRODUTIVITY (kg - sc/ha)			PRODUCTION (1000 t)		
	Season 19/20	Season 20/21	VAR. %	Season 19/20	Season 20/21	VAR. %	Season 19/20	Season 20/21	VAR. %
	(a)	(b)	(b/a)	(c)	(d)	(d/c)	(e)	(f)	(f/e)
COTTON: Pluma	1,665.6	1,367.0	(17.9)	1,802	1,713	(4.9)	3,001.6	2,342.4	(22.0)
RICE	1,665.8	1,682.1	1.0	6,713	6,994	4.2	11,183.4	11,765.6	5.2
DRY BEAN	2,926.7	2,938.7	0.4	1,104	1,024	(7.2)	3,222.6	3,009.6	(6.6)
CORN	18,527.3	19,832.6	7.0	5,537	4,709	(15.0)	102,586.4	93,384.6	(9.0)
SOYBEAN	36,949.7	38,507.6	4.2	3,379	3,529	4.5	124,844.8	135,911.7	8.9
GRAIN TOTAL BRASIL	65,924.8	68,803.9	4.4	3,899	3,790	(2.8)	257,016.7	260,795.1	1.5
SUGARCANE	8,616.1	8,422.8	(2.2)	75,965	74,576	(1.8)	654,527.8	628,137.5	(4.0)
COFFEE	1,884.3	1,824.7	(3.2)	33	28	(15.7)	63,077.9	49,588.6	(21.4)

Planted Area of Grains



Planted Area of Sugarcane and Coffee



July 29, 2021

4. 2021年上期の回顧と2021年下期の展望

化学品部会所属企業・団体：29社
→ アンケート協力：17社

〈アンケート方法〉
各市場における売上と利益の推移を聞き取り

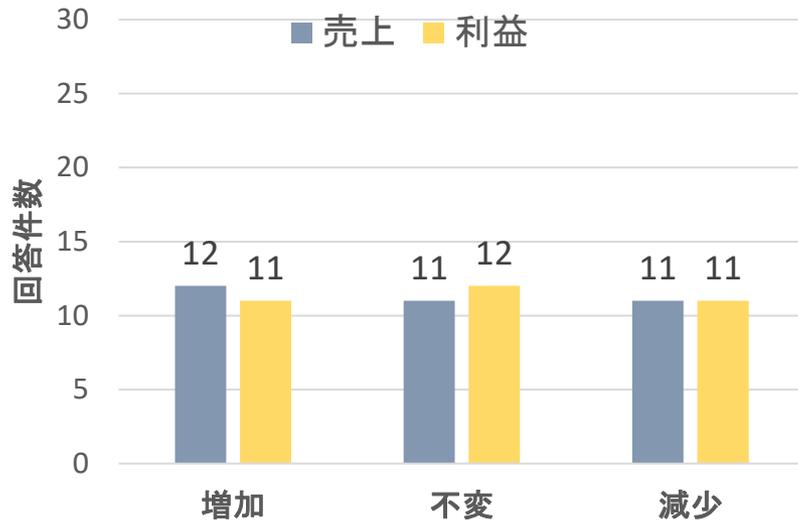
〈化学品部会が関わる市場〉

市場	アンケート数	割合
輸送（自動車・二輪車など）	10	30%
ヘルスケア（食品・化粧品・医薬品など）	8	24%
農業（農薬・飼料・酵素など）	5	15%
印刷（インキ・製紙など）	3	9%
コンシューマ（筆記具、接着剤など）	3	9%
その他（機器、機械など）	5	13%
合計	34	

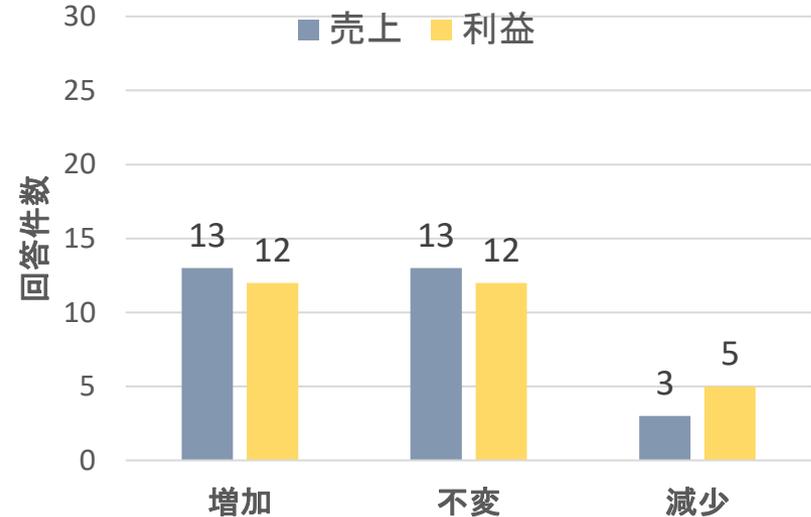
4. 2021年上期の回顧と2021年下期の展望

■ 化学品部会全体

21年1-6月回顧(20年7~12月対比)
(全体)



21年7~12月回顧(21年1~6月対比)
(全体)



<2021年上期回顧>

■ 売上・利益の増加、不変、減少はほぼ同程度

<2021年下期展望>

■ 売上・利益の回復を見込む企業が多い

<上期に化学業界の好調な環境を享受できていない理由>

- ・ 農薬関連は下期偏重型であるため
- ・ 顧客の市場、販売している製品によって状況が違う

ポジティブ

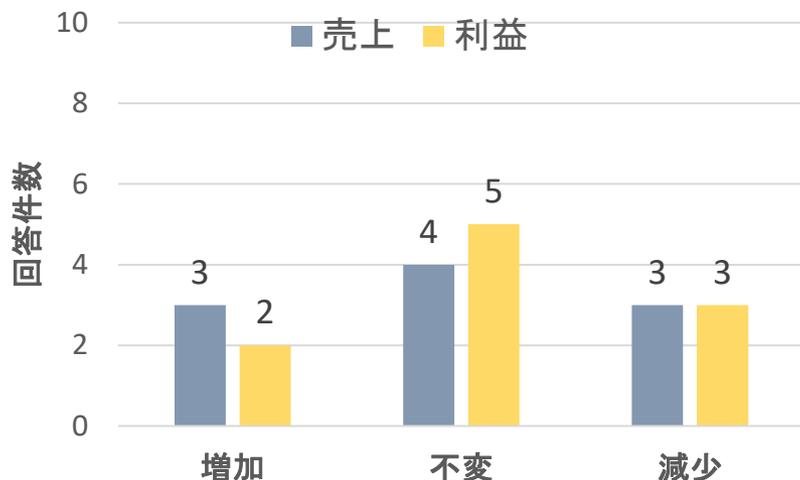
ネガティブ

4-a. 2021年上期の回顧と2021年下期の展望

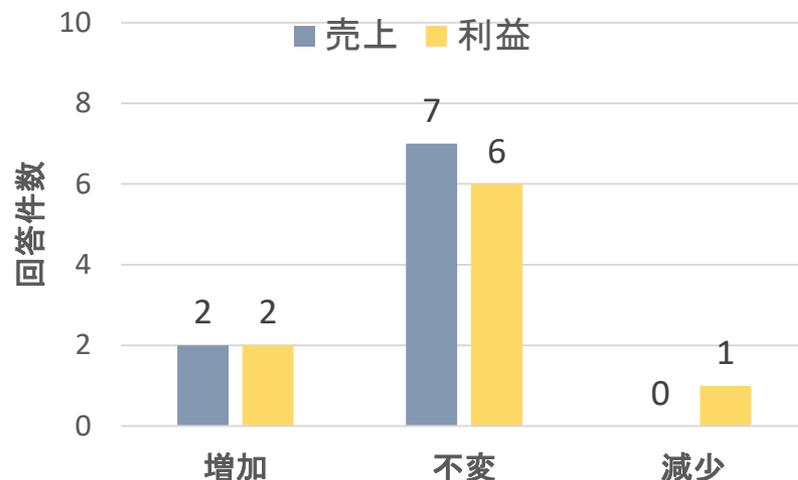
■ 輸送（自動車・二輪など）

用途：樹脂、樹脂添加物、燃料、エンジン用シール剤、タイヤ原料、車両用オイルなど

21年1-6月回顧(20年7~12月対比)
(輸送)



21年7~12月回顧(21年1~6月対比)
(輸送)



<2021年上期回顧>

- 自動車メーカーは半導体不足問題で生産調整を実施
- 自動車の需要は回復基調

<2021年下期展望>

- 半導体不足は継続するという見方が大半
- アジアからの部品に供給不安あるとの情報あり

ポジティブ

ネガティブ

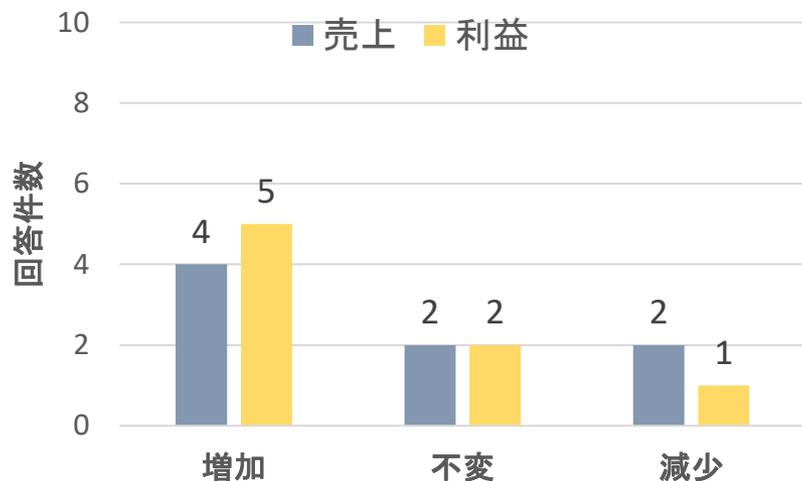
4-b. 2021年上期の回顧と2021年下期の展望

■ ヘルスケア（食品・化粧品・医薬品など）

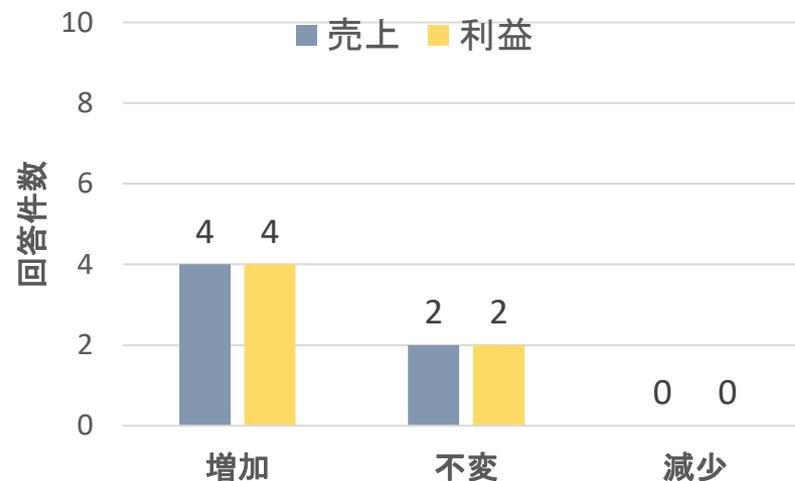


用途：フィルム改質材、機能性フィルム部材、食品添加物、化粧品原料、一般医薬品など

21年1-6月回顧(20年7~12月対比)
(ヘルスケア)



21年7~12月回顧(21年1~6月対比)
(ヘルスケア)



<2021年上期回顧>

- コロナの影響で業績が好調な企業が多い
- 原料不足で供給に支障が出ている会社有り

ポジティブ

ネガティブ

<2021年下期展望>

- 好調を維持するが伸長率は鈍化すると見込みが多い

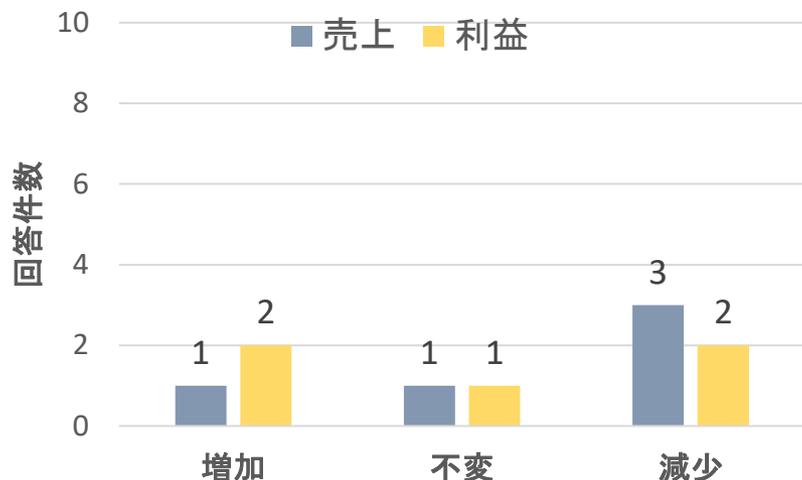
4-c. 2021年上期の回顧と2021年下期の展望

■ 農業（農薬・肥料・飼料）

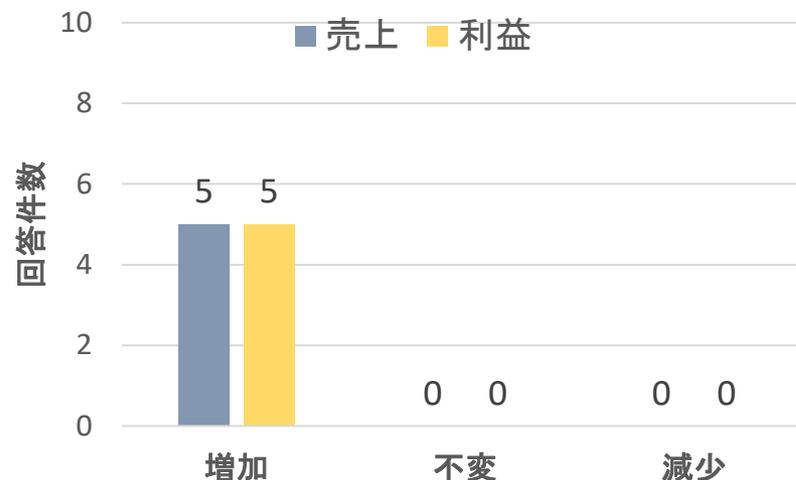
用途：殺虫・殺菌・除草剤、飼料添加物、肥料添加物など



21年1-6月回顧(20年7~12月対比)
(農業)



21年7~12月回顧(21年1~6月対比)
(農業)



<2021年上期回顧>

■ 農薬は下期偏重型のビジネスなので上期の業績は低調

ポジティブ

ネガティブ

<2021年下期展望>

■ 下期は業績回復

■ 堅調な農業生産、輸出の拡大

■ 他南米地域への拡大を狙う企業多い(アルゼンチン、チリ、コロンビア等有望)

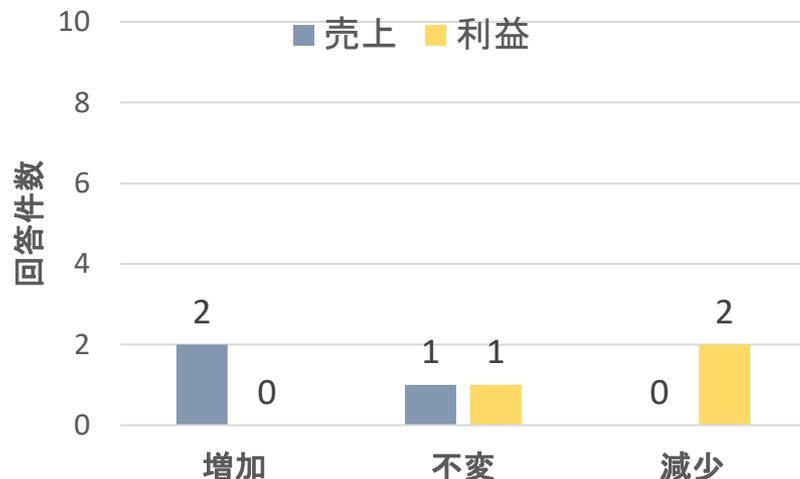
4-d. 2021年上期の回顧と2021年下期の展望

■ 印刷（インキ・製紙など）

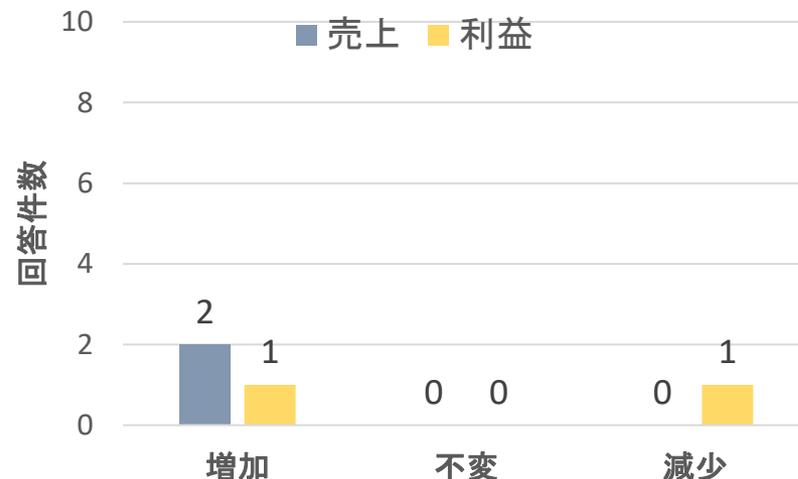
用途：出版・パッケージ用インキ、感熱紙原料、印画紙など



21年1-6月回顧(20年7~12月対比)
(印刷)



21年7~12月回顧(21年1~6月対比)
(印刷)



<2021年上期回顧>

- 需要堅調、パッケージ市場好調
- 競争激化、原料費のアップにより利益圧迫

<2021年下期展望>

- 需要は依然堅調を見込む、高級パッケージの引合いもある
- 利益確保が課題

ポジティブ

ネガティブ

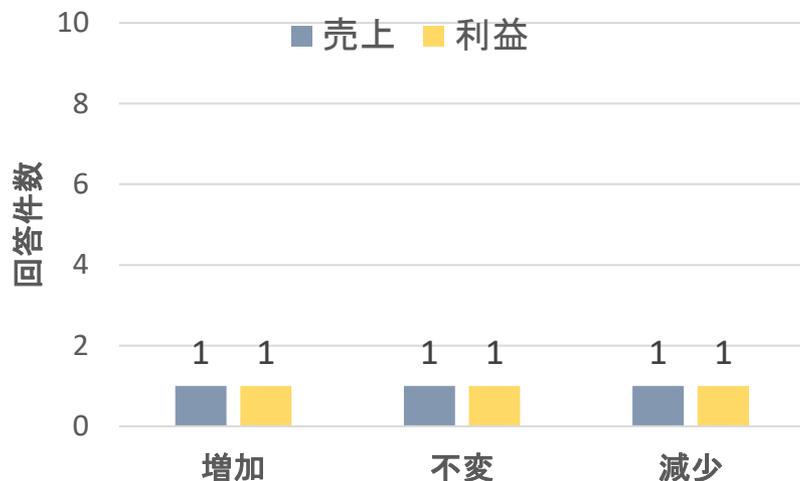
4-e. 2021年上期の回顧と2021年下期の展望

■ コンシューマ（筆記具、接着剤など）

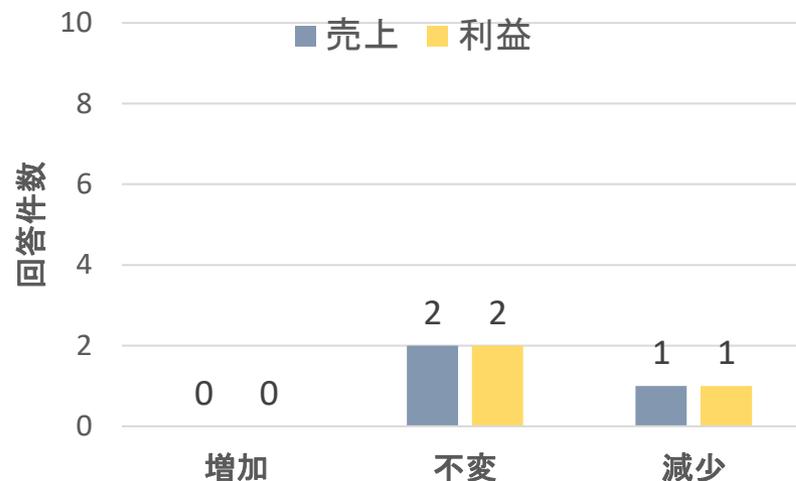


用途：筆記具、塗料、接着材、家庭用ボンドなど

21年1-6月回顧(20年7~12月対比)
(コンシューマ)



21年7~12月回顧(21年1~6月対比)
(コンシューマ)



<2021年上期回顧>

- 業種によって好不調が分かれる
(学校の閉鎖、在宅勤務拡大)

ポジティブ

ネガティブ

<2021年下期展望>

- 新型コロナウイルス感染再拡大による景気回復の遅れが心配

4-f. 総括

業種	2021年上期回顧	2021年下期展望
全体	売上・利益の増加、不変、減少は同程度	回復を見込む企業が多い
	化学業界全体は好調ではあるが、市場、製品によって状況は異なる	
輸送(自動車)	需要は堅調、半導体不足の影響で伸び鈍化	半導体、その他部品不足の状況は継続
ヘルスケア	全体としては好調な(反面、原材料不足で供給問題あり)	好調を維持するが伸長率は鈍化する見方が多い
農業(農薬)	下期偏重型なので上期は低調	下期は回復(販売・利益向上)を見込む
印刷	需要堅調だが、利益圧迫(競争激化、原料費のアップ)	上期と同じ状況を見込む 高級パッケージの需要に期待
コンシューマ	業種によって好不調に分かれる	新型コロナウイルス感染再拡大による景気回復の遅れが不安材料

3. その他(カマラ活動、ブラジルや日本政府への要望、 化学品部会への相談事など)

【期待】

- 税制改革の推進(移転価格税制のOECDへの加盟など)

【要望】(情報シェアのお願い)

- 為替変動リスク、移転価格税制、その他税制、労働法
- 水処理製品(RO、UF、MBR)の産業用途への展開
- パラグアイ、コロンビア情報
- ブラジルでの環境に関する法規制の情報

ご清聴ありがとうございました。